

秋田県五城目町の雀館古代井戸跡から 出土した黒色土器の胎土について

三 辻 利 一*

1. はじめに

これまでの土器研究では主として土器形式と胎土観察から情報を引き出してきた。近年、全国各地の、種々の土器の元素分析のデータが集積された結果、元素分析のデータからも情報を引き出すことが出来るようになった。須恵器や中世陶器の産地を推定することができるようになってきたのも、その成果の一つであるが、窯跡が残っていない土師器や弥生土器についても、その土器形式と元素分析のデータから、これまでに得られなかった情報を引き出し得るのもまた、その成果の一つである。

ここにとり上げた黒色土器は外見上の観察から、渤海産の土器ではないかと考えられてきたものである。今回、渤海上京龍泉府の黒色土器が分析できたので、その分析データと比較して、雀館古代井戸跡から出土した黒色土器の胎土について考察したので、その結果について報告する。

2. 土器資料

渤海上京龍泉府出土の黒色土器は北海道余市町教育委員会の宮宏明氏を通して東京大学文学部考古学教室から提供されたものである。雀館古代井戸跡出土の黒色土器は秋田県立博物館の船木義勝氏から、また、北海道大川遺跡、美々8遺跡から出土した黒色土器は宮宏明氏から提供されたものである。

3. 分析方法

1 cm四方程度の小片の土器資料は表面を研磨してのち、100メッシュ以下に粉碎された。粉末試料は塩化ビニール製のリングを枠にして、約13トンの圧力を加えてかため、内径2 cm、厚さ5 mmの錠剤試料を作成して蛍光X線分析を行った。

各元素の蛍光X線強度は同時に測定された岩石標準試料、JG-1の各元素の蛍光X線強度を使って標準化した値で表示された。筆者は通常、この標準化値を使ってデータ解析を行っているが、地球科学や岩石学分野では主成分元素については%濃度で、また、微量元素についてはppm濃度で表示するので、本報告では両方の分析値を表示しておく。

4. 分析結果

分析値は表1にまとめられている。K-Ca分布図上で雀館古代井戸跡出土の黒色土器を渤海上京龍泉府出土の黒色土器と比較したのが図1である。渤海の黒色土器はK量が多いのが特徴の一つであり、Ca量によって2群に分かれる。渤海上京龍泉府の黒色土器自身が単一の産地の製品ではなく、少なくとも、別々の2ヶ所で製作した土器である可能性がある。大川遺跡、美々8遺跡出土の黒色土器は渤海B群の試料と一緒に分布しているが、雀館古代井戸跡出土の黒色土器にはK量は比較的少なく、渤海の黒色土器とは一緒に分布しない。

図2にはRb-Sr分布図を示してある。この図では大川遺跡の黒色土器はB群ではなく、

* 奈良教育大学

A群の渤海の土器と一緒に分布するが、雀館古代井戸跡出土の黒色土器と美々8遺跡の黒色土器は渤海土器から少し離れて分布する。

K-Ca分布図とRb-Sr分布図は土器の素材となった粘土の原産地の特色をよく示すことがこれまでの研究によって分っている。図1、2をみる限り、雀館古代井戸跡から出土した黒色土器の胎土はどうみても渤海の黒色土器の胎土とは異なる。むしろ、横手盆地の窯跡出土須恵器の化学特性に類似する。美々8遺跡の黒色土器の胎土も渤海の土器には類似しないが、北海道産のK、Rb量の少ない特色ももってはいない。恐らく、本州、日本海側のどこかの地域からの搬入品とみられる。両図をみる限り、大川遺跡出土の黒色土器は渤海産の可能性をもつようにみえるが、K-Ca分布図ではB群に、Rb-Sr分布図ではA群に所属し、少なくとも、今回分析した渤海産土器とは同質の胎土であるとはいえない。このことは図3に示したNa因子の比較からも理解される。また、Na因子では渤海の土器は大きくばらついており、一ヶ所の粘土を使っ

た製品とはいえないことがわかる。Na因子でも渤海の土器は2群に分かれる。

図4にはFe因子を比較してある。この図でも、渤海の土器は2群に分かれるように見える。そして、雀館古代井戸跡および、美々8遺跡出土の黒色土器は渤海の土器に対応しない。Fe量、Na量がともに少ないのは横手盆地の須恵器の特徴でもある。

以上のことから、雀館古代井戸跡から出土した黒色土器は全因子で渤海産土器には対応せず、渤海産黒色土器とはいえないことが判明した。むしろ、全因子で横手盆地の窯跡出土須恵器の胎土に類似しており、このことから、秋田県内産の黒色土器である可能性が高い。また、大川遺跡、美々8遺跡、雀館古代井戸跡出土の黒色土器の胎土はそれぞれ、別々であり、別産地の製品と推定された。このうち、美々8遺跡、雀館古代井戸跡出土の黒色土器は日本産の黒色土器である可能性が強い。大川遺跡の黒色土器については渤海産か、本邦産かについては目下のところ、判断し難い。

表1 分 析 値

	K	Ca	Fe	Rb	Sr	Na
標準化値	0.397	0.225	0.672	0.464	0.645	0.518
	K ₂ O 1.57%	CaO 0.491%	Fe ₂ O ₃ 1.36%	Rb 84.0ppm	Sr 119ppm	Na ₂ O 0.536%

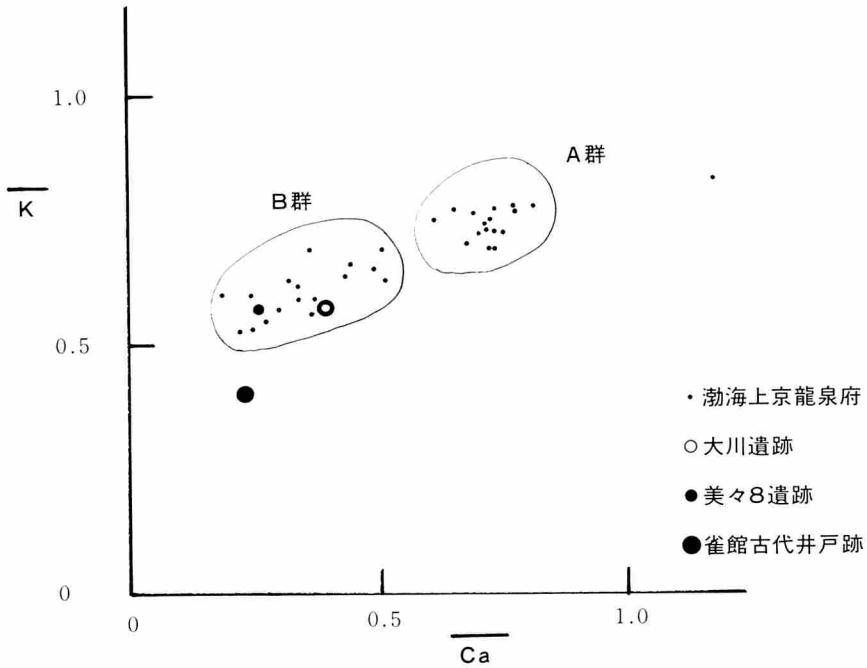


図1 黒色土器のK-Ca分布図

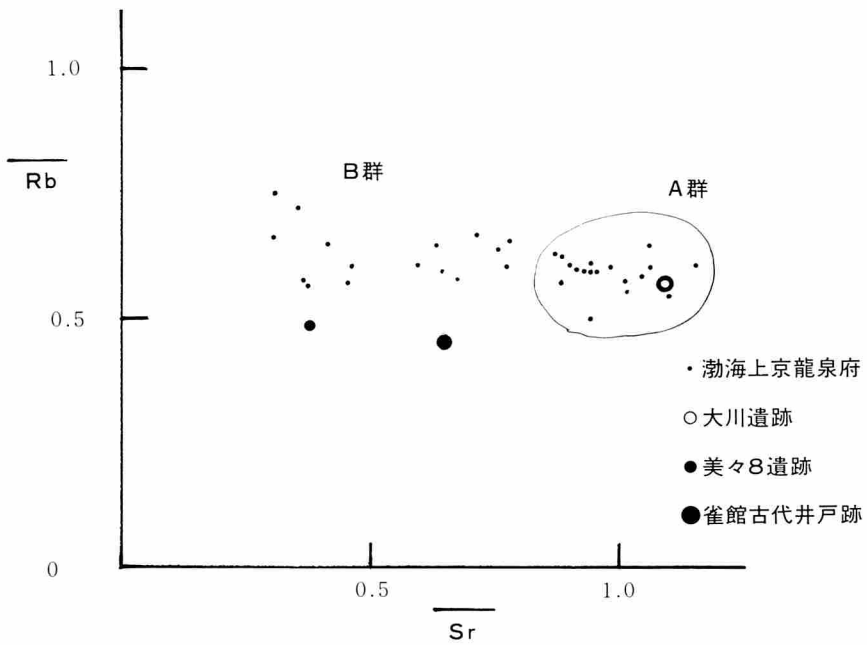
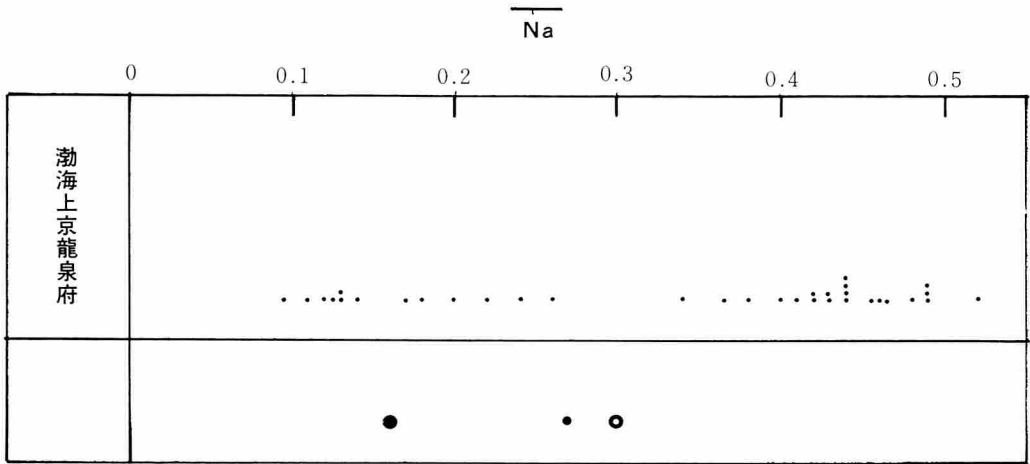


図2 黒色土器のRb-Sr分布図



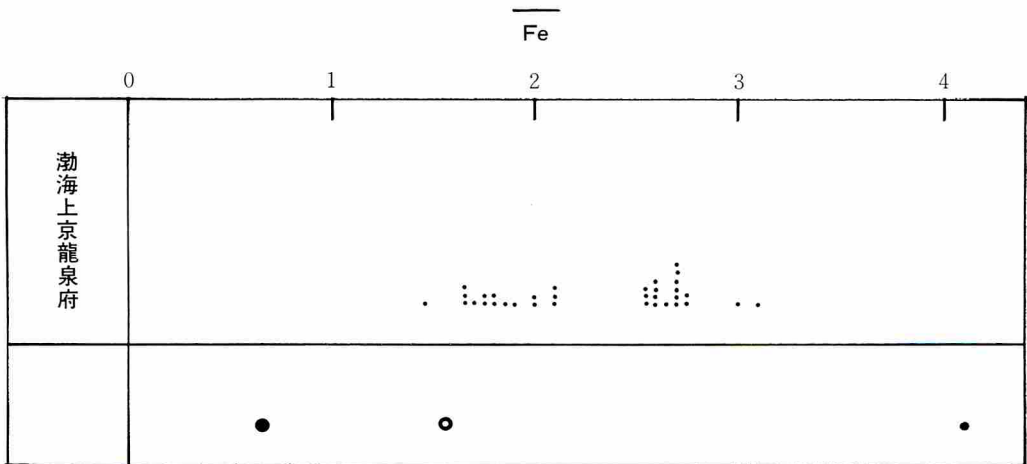
渤海 上京 龍泉府 ・

美々8遺跡 ●

大川遺跡 ○

雀館古代井戸跡 ●

図3 黒色土器のNa因子



渤海 上京 龍泉府 ・

美々8遺跡 ●

大川遺跡 ○

雀館古代井戸跡 ●

図4 黒色土器のFe因子